

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

平成28年5月23日

大同生命が「新契約手続の医務査定自動化」を実現

～生保業界で初めて健診表から医務査定データを自動生成する機能を導入。
対話型告知機能と合わせ、お客さまの申込手続に係る時間を大幅短縮～

大同生命は、より高品質なお客さま対応態勢の構築に向けて、タブレット型営業支援端末「エース・ウィズ」のペーパーレス申込手続に、当社も開発に参画した『医務査定自動化システム』を導入します。

新契約手続の医務査定自動化の概要

告知から医務査定までの各工程を紙ではなく、データでやりとり(自動化)することで、お客さまの申込手続に係る時間を短縮し、セキュアかつスピーディな契約引き受けを実現します。

《主なポイント》

・対話型告知機能(ドリルダウン方式)の導入 ～告知にかかる時間を約3割短縮～

お客さまの健康状態や病歴に応じて自動的に質問が設定されます。

⇒告知の入力が容易になるとともに、契約引受の判断に必要な告知を正確に漏れなく受領することができるため、お客さまの告知手続きにかかる負担(再告知・手戻り等)が軽減されます。

・ハンディスキャナ、非定型OCRの導入 ～引受査定開始までの時間を1日以上短縮～

エース・ウィズにハンディスキャナを接続し、手続時にお客さまの前で健診表を読み取り。

⇒健診表を現物でお預かりせず、イメージデータで受領するため、紛失による個人情報漏えいを防止するとともに、引受査定開始までの時間がスピードアップします。

⇒本社に送信された健診表イメージデータは、今回導入する「非定型OCR」という技術で自動的に検査項目ごとの数値をデータ化後、データベースに登録し、本社業務の効率化およびお引受を迅速化します。

・査定エンジンの導入 ～引受決定までにかかる時間を短縮～

ドリルダウン方式の告知データから、引受可否・契約条件等を自動的に査定する「査定エンジン」を導入。

⇒本社での新契約業務を自動化することで、引受決定までにかかる時間を短縮します。また、平成29年4月からは、告知手続完了後お客さまにその場で引受可否や追加書類をご案内可能となります。

〈大同生命のニュースリリース〉

2016年05月23日 新契約手続の医務査定自動化を実現！

～生保業界で初めて健診表から医務査定データを自動生成する機能を導入。
対話型告知機能と合わせ、お客さまの申込手続に係る時間を大幅短縮～

http://www.daido-life.co.jp/about/news/pdf/2016/160523_news.pdf

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 : 048-825-6101